

Q-AOS Brown Bag Seminar #12 質問に対する回答

※個人情報に関わる表現等を削除させて頂いております。ご了承下さい。

質問1:

非常に興味深いご講演、有難うございました。人口が減少する中、家で最期を迎えたい高齢者の日常を誰が世話するか話し合うことは非常に重要だと思います。こうした日常のケアは家族、医療スタッフ、どちらが担うべきだと思われますか？

ご質問ありがとうございます。多死社会に向かう超高齢化社会として、速やかに且つ懸命に回答すべき大事なご質問です。研究調査によると、高齢者の方々の多くは、家族に見守られながら自宅で人生の最期を迎えるのが至高、と考えています。よって、理想的には、今後に向けて今日よりもより多くの役割を家族が果たすべき、と考えることもできます。一方で、現実には、そもそも単身世帯や独り身の高齢者の方々もたくさんおり、今後はその数は増加し続けるであろうと推測されています(未婚率も全年齢層で増加中です)。このような方々にとって、「家族による看取り」は願うことすらできません。よって、今後に向けて医療関係者の方々による協力も必要不可欠であると考えます。その取り組みの一つとして、次世代の医療・ヘルスケアを担う方々が、従来の医療業務(病院施設などで患者の病気を治す)のみならず、必要に応じて緩和ケア(死を迎える高齢者の自宅などで支援を施す)も提供できるよう、新たな教育・訓練を提供することが考えられるのではないのでしょうか。